



市では、市民一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる分野に男女が共に参画し、いきいきと安心して暮らせるまち、すべての市民が個性と能力を生かして、地域で活躍できるまちづくりを目指しています。

このため、男女の自立と共同参画社会の実現に向けたあらゆる施策の新たな指針となる「男女共同参画プラン」の策定に取り組んでおり、現在まで、市民の意識調査結果や女性団体懇話会等の意見も盛り込み、素案としての取りまとめの段階となっています。

このプランをより充実したものにするため、家庭や地域、職場等での取組やご提案を郵送・ファックス・電子メールでお寄せください。

○募集期間

3月1日(木)~15日(木)

○送付先

〒617-8665 向日市役所 健康都市推進室
☎931-1111 ☎922-6587 e-mail:info@city.muko.kyoto.jp

男女共同参画プランの概要

◆◆ 基本目標 ◆◆

- 1.人権尊重と男女平等の意識づくり
- 2.女性と男性のあらゆる分野への参画促進
- 3.女性の生涯にわたる健康づくりと福祉の充実
- 4.総合的な男女共同参画の推進



◆◆ 計画の基本的考え方 ◆◆

<基本理念>

日本国憲法に基づき、すべての人々の人権が尊重される男女共同参画社会を築いていきます。

<基本的視点>

- (1)人権尊重と男女平等の達成
制度改革と意識改革の両面から、人権尊重と真の平等の達成を目指します。
- (2)ジェンダー解消の視点の確立
あらゆる分野におけるジェンダー解消の視点にたった施策を進めます。
- (3)計画推進体制の強化・整備
推進体制を整備し、事業実施の数値化を目指します。

※素案は、市役所の情報公開コーナーににおいています。

Q

4月から向日市の消防はどうなるのですか?

A

向日市、長岡京市、大山崎町の消防が統合され、「乙訓消防組合」として発足します。

4月1日から
乙訓消防組合がスタート



多様化、複雑化する災害に対応するため、平成13年4月1日から乙訓消防組合が発足します。

今回は、消防業務がどうなるのか、どんなメリットがあるのかを紹介します。

Q

乙訓消防組合の必要性はどこにあるのですか?

A

消防は、地域に密着した防災機関として発展してきており、近年は消防需要がますます高度化、多様化、大規模化し、乙訓地域(向日市、長岡京市、大山崎町)の消防本部発足時とは大きく変化しています。

乙訓地域の各消防本部は小規模であるため、大災害、同時多発災害、高度な救急及び予防業務等の対応や特殊車両(はしご車、化学車等)、通信指令装置等の効率的な運用が大きな課題となっており、また、名神高速道路大山崎インターの開設、第2外環状道路建設等の計画もあり、広域化、複雑化する災害活動にも的確な対応が必要となってきました。

このため、4月1日から向日市、長岡京市、大山崎町の消防行政を、一部事務組合「乙訓消防組合」に統合し、消防力の初動体制強化と広域的な消防行政を行うことになりました。

Q

乙訓消防組合の組織や機構はどうなるのですか?

A

新消防本部の名称は「乙訓消防組合消防本部」となり、1本部3消防署1分署の組織体制となります。乙訓消防組合消防本部は、長岡京市天神四丁目2番1号におかれ、長岡京消防署(長岡京市天神四丁目2番1号)、東分署(長岡京市神足芝本9番地の2)、向日消防署(向日市寺戸町西ノ段9番地の8)、大山崎消防署(大山崎町字円明寺小字百々1番地)の組織になります。

Q

災害出動はどうなるのですか?

A

現在の3署1分署は、そのまま存続し、初動体制の消防隊、救急隊等の緊急出動台数は、現在の2台~3台が5台~6台になり、総合的な消防力が強化されます。

Q

119番通報は?

A

向日市、長岡京市、大山崎町管内からの119番通報は、全て乙訓消防組合消防本部(現 長岡京市消防本部)で受信し、一斉指令により各消防署から消防車、救急車等が出動することになります。

また、携帯電話からの119番通報については、従来と同様に、京都市消防局を經由して乙訓消防組合消防本部で受信し、一斉指令により各消防署から消防車、救急車等が出動します。

Q

消防団はどうなりますか?

A

消防団事務の取扱いについては、それぞれの市町の事務となりますが、実質的には消防組合発足後も現在と変わりなく各消防署で実施されます。

Q

あんしんホットラインはどうなりますか?

A

向日市あんしんホットライン事業はそのまま存続します。利用申請の申込みは、市役所の健康福祉部高齢者福祉課(内線327)と社会福祉課(内線307)になります。